

厚生科学研究研究費補助金
新興・再興感染症研究事業

新興・再興感染症研究事業の企画及び評価に関する研究

平成11年度 総括研究報告書及び総合研究報告書

主任研究者 竹田 美文

平成12(2000)年4月

厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）
総括研究報告書

新興・再興感染症研究事業の企画と評価に関する研究

主任研究者 竹田 美文 国立感染症研究所長

研究要旨

新興・再興感染症研究の専門家からなる委員会を設け、新興・再興感染症研究事業の適正かつ円滑な実施を図った。

分担研究者

増田和茂、梅田珠実
岡部信彦、谷口清洲
小坂 健(以上、国立感染症研究所)

C 研究結果

- 1) 平成11年度終了課題37件の事後評価を行った。
- 2) 平成12年度新興・再興感染症研究事業における課題採択方針(案)を策定した。
- 3) 平成12年度の継続申請研究課題17件の中間評価を行い、16件の継続申請研究課題を採択した。
- 4) 平成12年度分新規申請課題の評価を行って次のとおりに絞り込んだ。

A 研究目的

諸外国の新興・再興感染症研究に劣らぬ研究を実施するためには、適切な課題の設定、最適な研究者の選考、公正な研究費の配分、そして厳密な研究成果の評価が必要不可欠であり、感染症研究の専門家からなる委員会で行う。

B 研究方法

新興・再興感染症研究の専門家である研究者を委員とする中間・事後評価委員会及び事前評価委員会を組織し、1) 研究者の選考及び研究費の配分審査の決定、2) 研究課題の設定、並びに3) 研究成果の評価・採択を行った。そのため中間・事後評価委員及び事前評価委員は、それぞれ専門分野の最新の知見の収集を行った。

区分	申請数	採択数
課題	102	33

平成11年度厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）採択課題

主任研究者	所属施設	職名	研究課題
岡田 全司	国立療養所近畿中央病院臨床研究部	部長	抗結核キラー T リンパ球とリコンビナント BCG・DNA ワクチンの開発による新しい予防・診断治療法
相川 正道	東海大学総合医学研究所	教授	抗マラリア薬の複合投与による相乗効果に関する基礎的研究
北 潔	東京大学大学院医学系研究科	助教授	新規抗トリパノソーマ薬アスコラソンの実用化
竹内 勤	慶應義塾大学医学部	教授	わが国におけるアメーバ症の実態の解明と対策確立に関する研究
牧野 壮一	帯広畜産大学畜産学部 獣医学科家畜微生物学教室	助教授	炭疽菌の発症機構の解明と迅速検出法の確立
林 英生	筑波大学医学専門学群	教授	サルモネラの診断・予防法の開発
佐藤 成大	岩手医科大学細菌学講座	教授	O 157 等腸管出血性大腸菌感染症に関する研究
山本 三郎	国立感染症研究所細菌・血液製剤部細菌製剤第一室	室長	結核症及び非結核性抗酸菌症における生体防御機構の解明とその予防・診断・治療への応用
阿部 千代治	(財)結核予防会結核研究所基礎研究部	部長	薬剤耐性結核のサーベイルンス、耐性の分子機構および多剤耐性結核の治療に関する研究
大村 智	(社)北里研究所	所長	抗マラリア剤の探索研究
小熊 恵二	岡山大学医学部細菌学教室	教授	食餌性ボツリヌス中毒および乳児ボツリヌス症に関する研究
平井 克哉	岐阜大学農学部	教授	リケッチアによる新興・再興感染症の疫学、診断および予防に関する研究
渡辺 彰	東北大学加齢医学研究所呼吸器腫瘍研究分野	助教授	Q 熱による呼吸器感染症の国内での発症状況および病像に関する研究
宮村 達男	国立感染症研究所ウイルス第二部	部長	感染症発生動向調査等に関する研究(我が国におけるポリオ根絶宣言のための小児 AFP サーベイルンスの体制の確立)
田村 慎一	国立感染症研究所感染病理部	室長	粘膜免疫機構の基盤と応用

主任研究者	所属施設	職名	研究課題
吉澤 浩司	広島大学医学部衛生学	教授	非 A 非 B 型肝炎の予防、疫学に関する研究
飯野 四郎	聖マリア医科大学内科学 (消化器肝臓内科)	教授	非 A 非 B 型肝炎の臨床的総合研究
伊藤 拓	国立小児病院	副院長	腸管出血性大腸菌 (VTEC) 感染に伴う溶血性尿毒症症候群 (HUS) の病態と治療法の研究
高橋 元秀	国立感染症研究所細菌・血液製剤部	室長	Vero 毒素のトキソイドワクチンの開発と O157 感染症発症阻止に関する研究
名取 泰博	国立国際医療センター 研究所臨床薬理研究部	室長	病原性大腸菌 O157 感染症の迅速診断法の開発と発症機構に関する研究
渡辺 治雄	国立感染症研究所細菌部	部長	O157 感染症の菌学的特性に基づく動向調査に関する研究
神谷 齋	国立療養所三重病院	院長	インフルエンザワクチンの効果に関する研究
田代 真人	国立感染症研究所ウイルス製剤部	部長	インフルエンザ大流行に備えた危機管理対策の確立に関する研究
根路銘国昭	国立感染症研究所ウイルス第一部呼吸器系ウイルス室	室長	パンデミー・間パンデミーインフルエンザのサーベイランスに関する調査研究
国包 章一	国立公衆衛生院水道工学部	部長	水道水を介して感染するクリプトスポリジウム及び類似の原虫性疾患の監視と制御に関する研究
柏原 嘉子	国立感染症研究所ハンセン病研究センター病原微生物部	部長	ハンセン病の発症に関わるらい菌の生物学的特性
小林 和夫	国立感染症研究所ハンセン病研究センター生体防御部	部長	ハンセン病における宿主防御機構の解明とその治療・予防応用
大国 寿士	日本医科大学老人病研究所免疫部門	教授	劇症型 A 群リネ球菌感染症の分子発症機構
斎藤 厚	琉球大学医学部第一内科	教授	レジオネラ感染症の新しい診断技術の開発とその標準化に関する研究
森 亨	(財)結核予防会結核研究所	所長	再興感染症としての結核対策のあり方に関する総合的研究
太田 伸生	名古屋市立大学医学部	教授	住血吸虫症の感染防御免疫とその予防・治療的応用に関する研究

主任研究者	所属施設	職名	研究課題
鈴木 守	群馬大学医学部	教授	マリアの病態疫学と対策に関する基礎的研究
熊谷 進	国立感染症研究所食品衛生微生物部	部長	食中毒菌の検出方法、食品汚染の実態とその制御に関する研究
小沼 博隆	国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部	室長	調理施設と食品製造業における衛生管理に関する研究
田村 和満	国立感染症研究所細菌部	室長	大規模化する食中毒原因菌の疫学的指標としての DNA 型別、ファージ型別等の応用と新しい迅速型別の開発に関する研究
武田 直和	国立感染症研究所ウイルス第二部	室長	下痢症ウイルスの検出法、予防法、汚染指標および疫学に関する研究
熊本 悦明	札幌医科大学医学部泌尿器科学教室	名誉教授	本邦における性感染症に関するセナル・サーベイランス施行の基礎的検討
小室 勝利	国立感染症研究所安全性研究部	部長	接触及び血液由来感染症の防御対策に関する研究
園田 俊郎	鹿児島大学医学部ウイルス学講座	教授	成人 T 細胞白血病 (ATL) の発症予防と治療に関する総合的研究
荒川 宜親	国立感染症研究所細菌・血液製剤部	部長	薬剤耐性菌による感染症のサーベイランスシステムの構築に関する研究
岡部 信彦	国立感染症研究所感染症情報センター感染症情報室	室長	薬剤耐性菌感染症症例情報ネットワーク構築に関する研究
藤原 博	国立感染症研究所細菌・血液製剤部抗生物質製剤室	室長	細菌の薬剤耐性機構の分子解析と耐性機序別迅速検出法に関する研究
堀田 国元	国立感染症研究所生物活性物質部遺伝生化学室	室長	我が国における施設内感染等のあり方に関する研究
池田 和彦	東京都精神医学総合研究所超微形態研究部門	副参事	ホルヘ病ウイルス感染の実態に関する疫学的ウイルス学的研究
金澤 保	産業医科大学医学部寄生虫学・熱帯医学	教授	流行域が拡大しつつあるエキノコックス症の監視・防遏に関する研究
倉根 一郎	国立感染症研究所ウイルス第一部	部長	デングウイルス及び日本脳炎ウイルスに対する新型ワクチンの研究

主任研究者	所属施設	職名	研究課題
品川 森一	帯広畜産大学畜産学部 獣医学科獣医公衆衛生 学教室	教授	プリオン病の高感度診断技術の開 発
高島 郁夫	北海道大学大学院獣医 学研究科	教授	ダニ媒介性新興感染症の疫学、発症 機序および予防法に関する研究
山田 章雄	国立感染症研究所筑波 医学実験用霊長類セン ター	センター長	霊長類を介する人獣共通感染症の 制御に関する研究
吉川 泰弘	東京大学大学院農学生 命科学研究科実験動物 学教室	教授	輸入動物及び媒介動物由来人獣共 通感染症の防御対策に関する総合 的研究
井上 栄	国立感染症研究所感染 症情報センター	センター長	包括的感染症情報システムの構築 に関する研究
益川 邦彦	神奈川県衛生研究所	所長	地方衛生研究所における感染症サ ーベランス情報の解析に関する研究
宮崎 久義	国立熊本病院	院長	新興再興感染症のサーベランスおよ び感染症情報システムの導入に関する 調査
森次 保雄	国立感染症研究所	名誉所員	微生物系統株の収集・保存事業(感 染症ライブラリー)の構築に関する調 査研究
廣田 良夫	大阪市立大学医学部	教授	幼児等に対するインフルエンザワクチ ンの有効性・安全性に関する基礎的 研究
森島 恒雄	名古屋大学医学部	教授	インフルエンザ脳炎・脳症に関する 研究
森 亨	結核予防会結核研究所	所長	結核積極的疫学調査・院内感染対策 に関する緊急研究
松尾 英一	国立感染症研究所ハン セン病研究センター	センター長	ハンセン病の発生動向把握システ ムの開発に関する研究
谷口 清洲	国立感染症研究所感染 症情報センター	室長	感染症週報改善のための研究
蟻田 功	(財)国際保健医療交流 センター	理事長	我が国における麻疹対策プログラ ムの作製に関する研究
小林 寛伊	関東通信病院	院長	肝炎ウイルスの院内感染防止・消毒 に関する研究

平成12年度新興・再興感染症研究事業における課題採択方針

- 1 国立感染症研究所と地方衛生研究所、大学等との連携による感染症対策の効率的な実施に関する研究
- 2 パルスフィールドゲル電気泳動法(Pulsed-Field Gel Electrophoresis, PFGE)の標準化及び画像診断を基礎とした分散型システムの有効性に関する研究
- 3 効果的な感染症発生動向調査のための国及び県の発生動向調査の方法論の開発に関する研究
- 4 国及び県の発生動向調査の連携及び海外の調査定点設定に関する研究
- 5 感染症診断・検査手法の精度管理並びに標準化及びその普及に関する研究
- 6 未知の感染症のリスク評価に関する研究
- 7 大規模感染症発生時の緊急対応の在り方に関する研究
- 8 感染症及び感染症対策の国際的動向に関する研究
- 9 新興・再興感染症研究事業の企画及び評価に関する研究
- 10 再興感染症としての結核対策の確立のための研究
- 11 インフルエンザの臨床経過中に発生する脳炎・脳症の疫学及び病態に関する研究
- 12 乳幼児に対するインフルエンザワクチンの効果に関する研究
- 13 新型インフルエンザ対策に関する総合研究
- 14 性感染症の効果的な発生動向調査に関する研究
- 15 プリオン病の診断技術の開発に関する研究
- 16 エキノコックス症の監視・防御に関する研究
- 17 マラリアの病態疫学、流行予測及び感染動向に関する研究

- 1 8 日本住血吸虫等世界の寄生虫疾患の疫学及び予防に関する研究
- 1 9 新型の薬剤耐性菌のレファレンス並びに耐性機構の解析及び迅速・簡便検出法に関する研究
- 2 0 薬剤耐性菌の発生動向のネットワークに関する研究
- 2 1 院内感染の発生リスクの評価及び効果的な対策システムの開発等に関する研究
- 2 2 輸入動物が媒介する動物由来感染症の実態把握及び防御対策に関する研究
- 2 3 輸入真菌症等真菌症の診断・治療法の開発と発生動向調査に関する研究
- 2 4 重症エンテロウイルス脳炎の疫学的及びウイルス学的研究並びに臨床的対策に関する研究
- 2 5 新興する細菌性腸管感染症の診断・治療法の開発と発生動向調査に関する研究
- 2 6 食品由来のウイルス性感染症の検出・予防に関する研究
- 2 7 劇症型レンサ球菌感染症の病態解明及び治療法の確立に関する研究
- 2 8 髄膜炎菌性髄膜炎の発生動向調査及び検出方法の研究
- 2 9 回帰熱、レプトスピラ等の希少輸入細菌感染症の実態調査及び迅速診断法の確立に関する研究
- 3 0 ハンセン病感染の実態把握及びその予防(後遺症の予防を含む。)・診断・治療法に関する研究
- 3 1 クリプトスポリジウム及びジアルジアの診断、治療及び疫学に関する研究
- 3 2 節足動物媒介性ウイルスに対する診断法の確立、疫学及びワクチン開発に関する研究
- 3 3 上記ほか、新興・再興感染症の予防、診断、治療及び疫学に関し、特に重要性、緊急性が高いと考えられる研究

平成12年度厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）採択一覧

主任研究者	所属施設	職名	研究課題名
竹田美文	国立感染症研究所	所長	新興・再興感染症研究事業の企画及び評価に関する研究
島尾忠男	結核予防会	会長	国立感染症研究所、地方衛生研究所及び大学等との連携による感染症対策の効果的な実施に関する研究
渡辺治雄	国立感染症研究所 細菌部	部長	パルスフィールドゲル電気泳動法（Pulsed-Field Gel Electrophoresis, PFGE）の標準化及び画像診断を基盤とした分散型システムの有効性に関する研究
岡部信彦	国立感染症研究所感 染症情報センター	センター長	効果的な感染症発生動向調査のための国及び県の発生動向調査の開発に関する研究
鈴木重任	東京都立衛生研究所	所長	国及び県の発生動向調査の連携及び海外の調査定点設定に関する研究
倉田毅	国立感染症研究所	副所長	感染症診断・検査手法の制度管理並びに標準化及びその普及に関する研究
小室勝利	国立感染症研究所安 全性研究部	部長	未知の感染症のリスク評価に関する研究
山本保博	日本医科大学付属病 院（高度救命救急セ ンター）	主任教授 部長	大規模感染症発生時の研究対応の在り方に関する研究
宮城島一明	京都大学大学院医学 研究科社会予防医学 講座公衆衛生学	助教授	感染症及び感染症対策の国際的動向に関する研究
森亨	（財）結核予防会結 核研究所	所長	再興感染症としての結核対策確立のための研究
森島恒雄	名古屋大学医学部保 健学科	教授	インフルエンザの臨床経過中に発生する脳炎・脳症の疫学及び病態に関する研究

主任研究者	所属施設	職名	研究課題名
神谷 斎	国立療養所三重病院	病院長	乳幼児に対するインフルエンザワクチンの効果に関する
田代 真人	国立感染症研究所ウイルス製剤部	部長	新型インフルエンザ対策に関する総合研究
熊本 悦明	札幌医科大学医学部泌尿器科学教室	名誉教授	性感染症の効果的な発生動向調査に関する研究
品川 森一	帯広畜産大学畜産学部獣医学科獣医公衆衛生学教室	教授	プリオン病の診断技術の開発に関する研究
神谷 正男	北海道大学大学院獣医学研究科寄生虫医学教室	教授	エキノコックス症の監視・防御に関する研究
鈴木 守	群馬大学医学部	教授	マラリアの病体疫学、流行予測及び感染動向に関する研究
太田 伸生	名古屋市立大学医学部	教授	日本住血吸虫等世界の寄生虫疾患の疫学及び予防に関する研究
池 康嘉	群馬大学医学部	教授・施設長	新型の薬剤耐性菌のレファレンス並びに耐性機構の解析及び迅速・簡便検出法に関する研究
荒川 宣親	国感染症研究所細菌・血液製剤部	部長	薬剤耐性菌の発生動向のネットワークに関する研究
吉倉 廣	国立国際医療センター研究所	所長	院内感染の発症リスクの評価及び効果的な対策システムの開発等に関する研究
吉川 泰弘	東京大学大学院農学生命研究科実験動物学教室	教授	輸入動物が媒介する動物由来感染症の実態把握及び防御対策に関する研究
上原 至雅	国立感染症研究所生物活性物質部	部長	輸入真菌症等真菌症の診断・治療法の開発と発生動向調査に関する研究
岩崎 琢也	国立感染症研究所感染病理部	室長	重症エンテロウイルス脳炎の疫学的及びウイルス学的研究並びに臨床的対策に関する研究
名取 泰博	国立国際医療センター研究所・臨床薬理研究部	部長	新興する細菌性腸管感染症の診断・治療法の開発と発生動向調査に関する研究

主任研究者	所属施設	職名	研究課題名
武田直和	国立感染症研究所ウイルス第二部	室長	食品由来のウイルス性感染症の検出・予防に関する研究
浜田茂幸	大阪大学歯学部	教授	劇症型レンサ球菌感染症の病態解明及び治療法の確立に関する研究
山井志朗	神奈川県衛生研究所細菌病理部	部長	髄膜炎菌性髄膜炎の発生動向調査及び検出方法の研究
増澤俊幸	静岡県立大学・薬学部	助教授	回帰熱、レプトスピラ等の希少輸入細菌感染症の実態調査及び迅速診断法の確立に関する研究
松岡正典	国立感染症研究所ハンセン病研究センター生体防御部	室長	ハンセン病感染の実態把握及びその予防（後遺症の予防も含む。） ・診断・治療法に関する研究
国包章一	国立公衆衛生院水道工学部	部長	クリプトスポリジウム及びジアリジアの診断、治療及び疫学に関する研究
倉根一郎	国立感染症研究所ウイルス第一部	部長	節足動物媒介性ウイルスに対する診断法の確立、疫学及びワクチン開発に関する研究
安居院宣昭	国立感染症研究所昆虫医科学部	部長	疾病媒介昆虫の侵入・移動分散の監視・防御に関する研究

厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）
総合研究報告書

新興・再興感染症研究事業の企画と評価に関する研究

主任研究者 竹田美文 国立感染症研究所長

研究要旨

新興・再興感染症研究の専門家からなる委員会を設け、新興・再興感染症研究事業の適正かつ円滑な実施を図った。

A. 研究目的

諸外国の新興・再興感染症研究に劣らぬ研究を実施するためには、適切な課題の設定、最適な研究者の選考、公正な研究費の配分、そして厳密な研究成果の評価が必要不可欠であり、感染症研究の専門家からなる委員会で行う。

B. 研究方法

新興・再興感染症研究の専門家である研究者を委員とする中間・事後評価委員会及び事前評価委員会を組織し、1) 研究者の選考及び研究費の配分審査の決定、2) 研究課題の設定、並びに3) 研究成果の評価・採択を行った。そのため中間・事後評価委員及び事前評価委員は、それぞれ専門分野の最新の知見の収集を行った。

C. 研究結果

1) 平成9～12年度分新規申請課題の評価を行い、次のとおり絞り込んだ。

平成9年度分

区 分	申請数	採択数
重点課題	1 2 7	3 7
奨励課題	2 3 8	6 2

平成10年度分

区 分	申請数	採択数
重点課題	7 4	1 1

平成11年度分

区 分	申請数	採択数
課 題	5 0	6

平成12年度分

区 分	申請数	採択数
課 題	1 0 2	3 3

2) 平成10～12年度について新興・再興感染症事業における課題採択方針（案）を策定した。

3) 平成10・11年度の継続申請研究課題の中間評価を行ったところ、すべて適切に進められていた。

4) 平成12年度の継続申請研究課題17件の中間評価を行い、16件の継続申請研究課題を採択した。

5) 平成11年度終了課題37件の事後評価を行った。

平成9年度厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）特別重点研究採択課題

1 O157感染症

主任研究者	所属施設	職名	研究課題名
伊藤 拓	国立小児病院	副院長	腸管出血性大腸菌（VTEC）感染に伴う溶血性尿毒症症候群（HUS）の病態と治療法の研究
高橋 元秀	国立感染症研究所細菌・血液製剤部	主任研究官	Vero毒素のトキソイドワクチンの開発とO-157感染症発症防止に関する研究
山崎 伸二	国立国際医療センター	室長	病原性大腸菌O157感染症の迅速診断法の開発と発症機構に関する研究
渡辺 治雄	国立感染症研究所細菌部	部長	O157感染症の菌学的特性に基づく動向調査に関する研究

2 インフルエンザ

神谷 斉	国立療養所三重病院	院長	ワクチン等による予防・治療に関する研究（インフルエンザワクチンの効果に関する研究）
田代 真人	国立感染症研究所ウイルス製剤部	部長	インフルエンザ大流行に備えた危機管理対策の確立に関する研究
根路銘国昭	国立感染症研究所ウイルス第一部	室長	パンデミー間パンデミーインフルエンザのサーベイランスに関する調査研究

3 薬剤耐性菌

荒川 宣親	国立感染症研究所細菌・血液製剤部	部長	薬剤耐性菌による感染症のサーベイランスシステムの構築に関する研究
岡部 信彦	国立感染症研究所感染症情報センター	室長	薬剤耐性菌感染症症例情報ネットワーク構築に関する研究
藤原 博	国立感染症研究所細菌・血液製剤部	室長	細菌の薬剤耐性機構の分子解析と耐性機序別迅速検出法に関する研究
掘田 国元	国立感染症研究所生物活性物質部	室長	我が国における施設内感染等のあり方に関する研究

4 クリプトスポリジウム

主任研究者	所属施設	職名	研究課題名
国包 章一	国立公衆衛生院水道工学部	部長	水道水を介して感染するクリプトスポリジウム及び類似の原虫性疾患の監視と制御に関する研究

5 ハンセン病

柏原 嘉子	国立感染症研究所ハンセン病研究センター病原微生物部	部長	ハンセン病発症におけるらい菌の生物学的特性
小林 和夫	国立感染症研究所ハンセン病研究センター生体防御部	部長	ハンセン病発症における宿主防御機構の解明とその治療・予防応用

6 劇症型A群溶連菌感染症

大国 寿士	日本医科大学老人病研究所免疫部門	教授	劇症型A群レンサ球菌感染症の分子発症機構
-------	------------------	----	----------------------

7 熱帯病

太田 伸生	名古屋市立大学医学部	教授	住血吸虫症の感染防御免疫とその予防・治療的応用に関する研究
鈴木 守	群馬大学医学部	教授	マラリアの病態疫学と対策に関する基礎的研究

8 食品由来感染症

熊谷 進	国立感染症研究所食品微生物部	部長	食中毒菌の検出方法、食品汚染の実態とその制御に関する研究
小沼 博隆	国立衛生試験所衛生微生物部	室長	調理施設と食品製造業における衛生管理に関する研究
田村 和満	国立感染症研究所細菌部	室長	大規模化する食中毒原因菌の疫学的指標としてのDNA型別、ファージ型別等の応用と新しい迅速型別法の開発に関する研究
宮村 達男	国立感染症研究所ウイルス第三部	部長	下痢症ウイルスの検出法、予防法、汚染指標および疫学に関する研究

9 血液・STD

主任研究者	所属施設	職名	研究課題名
熊本 悦明	札幌医科大学医学部	名誉教授	本邦における性感染症に関するセンチナル・サーベイランス施行の基礎的検討
小室 勝利	国立感染症研究所安全研究部	部長	接触及び血液由来感染症の防御対策に関する研究

10 人畜共通感染症

池田 和彦	東京都精神医学総合研究所超微形態研究部門	副参事研究員	ボルナ病ウイルス感染の実態に関する疫学的ウイルス学的研究
金澤 保	国立感染症研究所寄生動物部	室長	流行域が拡大しつつあるエキノコックス症の監視・防遏に関する研究
倉根 一郎	近畿大学医学部	教授	デングウイルス及び日本脳炎ウイルスに対する新型ワクチンの開発に関する研究
品川 森一	帯広畜産大学畜産学部	教授	プリオン病の高感度診断技術の開発
高島 郁夫	北海道大学大学院獣医学研究科	教授	ダニ媒介性振興感染症の疫学、発症機序及び予防法に関する研究
山田 章雄	国立感染症研究所筑波医学実験用霊長類センター	センター長	霊長類を介する人畜共通感染症の制御に関する研究
吉川 泰弘	東京大学大学院	教授	輸入動物及び媒介動物由来人畜共通感染症の防疫対策に関する総合的研究

11 レジオネラ症

斎藤 厚	琉球大学医学部	教授	レジオネラ感染症の新しい診断技術の開発とその標準化に関する研究
------	---------	----	---------------------------------

12 サーベイランス

井上 栄	国立感染症研究所感染症情報センター	センター長	感染症のサーベイランス及び感染症情報に関する研究並びに包括的感染症情報システムの構築に関する研究
------	-------------------	-------	--------------------------------------------------

片桐 進	山形県衛生研究所	所長	地方衛生研究所における感染症サーベイランス情報の解析に関する研究
宮崎 久義	国立熊本病院	院長	新興再興感染症のサーベイランス及び感染症情報システムの導入に関する調査

1 3 系統株保存事業

森次 康雄	国立感染症研究所	副所長	微生物系統株の収集・保存事業の構築に関する調査研究
-------	----------	-----	---------------------------

1 4 結核・その他

園田 俊郎	鹿児島大学医学部	教授	成人T細胞白血病の発症予防と治療に関する総合的研究
森 亨	(財)結核予防会結核研究所	所長	再興感染症としての結核対策のあり方に関する総合的研究

平成9年度厚生科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）奨励研究採択課題

岩崎 博道	福井医科大学第一内科	助手	日本国内の新興及び再興リケッチア感染症の重症化と宿主側要因
岩澤 晶彦	札幌医科大学医学部	助手	無症状の一般人（主として妊婦を対象とした）における各種STDの疫学的調査
内田 亨弘	武庫川女子大学薬学部	助教授	マイクロスプアー利用による経口感作増強型インフルエンザワクチンの開発
梅田 珠美	国立感染症研究所国際協力室	室長	海外における感染症発生時対応のあり方に関する研究
唐澤 忠宏	金沢大学医学部	講師	劇症型レンサ球菌感染症におけるレンサ球菌NAD分解酵素の病原因子としての関連性
川上 和義	琉球大学医学部	助手	メリオイドーシス発症の分子機構に関する研究
清河 信敬	国立小児病院小児医療研究センター	室長	ペロ毒素による細胞死の分子機構に関する研究
小林 宣道	札幌医科大学医学部	講師	MRSAにおける消毒剤耐性遺伝子の分布と多様性に関する研究

西藤 岳彦	国立感染症研究所ウイルス第1部	研究員	ボルナ病ウイルスに対する人血中抗体価測定法の確立に関する研究
笹井 和美	大阪府立大学農学部	助手	侵入に関わる共通抗原を用いたコクシジウムの感染防御
佐藤 雪太	旭川医科大学医学部	助手	鞭毛遺伝子を標的としたPCR法による迅速なライム病診断法の開発
鈴木 隆子	財団法人放射線影響研究所	研究員	保存癌組織試料の分子生物学解析によるウイルス感染症の予防及び発癌機構に関する研究
鈴木 雅之	国立東京第二病院	医員	ヘリコバクターピロリ感染に伴う胃粘膜病変発症の機序に関する研究
谷口 清洲	国立感染症研究所感染症情報センター	主任研究官	サーベイランスデータの疫学指標への活用に関する研究
谷原 真一	自治医科大学公衆衛生学教室	助手	感染症サーベイランスシステムにおける患者情報の標準化に関する疫学研究
多屋 馨子	大阪大学医学部	助手	医療機関等の施設における感染症対策に関する研究
角田 卓也	和歌山県立医科大学第2外科	助手	CTL誘導ペプチドワクチンによるサイトメガロウイルス感染症の克服に関する研究
中島 正光	川崎医科大学呼吸器内科	講師	医療基準の改定に伴う肺結核初回標準化学療法に関する研究
西村 裕一	(財)国際保健医療交流センター	感染症専門家	疾病根絶対策の費用効果に関する研究
藤井 潤	産業医科大学医学部	助手	マウスO157経口感染モデルにおける抗生物質の効果に関する研究
藤里 俊哉	国立循環器病センター研究所	室員	免疫吸着型血液透析を用いた尿毒治療法の開発
堀口 安彦	大阪大学微生物病研究所	助手	<i>Pasteurella multocida</i> の病原因子の作用機構の研究
宮本 忠	大阪府立大学農学部	助手	高率に汚染卵を産出する鶏モデルを用いた腸炎菌ワクチンの効果判定

森松 組子	北海道大学医学部	助手	ハンタウイルス感染症の診断技術の開発とその標準化に関する研究
中山 周一	国立感染症研究所細菌部	研究員	病原細菌の病原因子の解析とその発現制御に基づいた治療法開発のための研究
和田 光一	国立療養所西新潟中央病院臨床研究室	臨床研究室長	医療基準の改定に伴う肺結核初回標準化学療法の影響に関する研究
青井 義隆	成田空港検疫所	衛生課長	媒介動物による感染症の防御対策に関する研究
阿部 淳	国立小児病院医療研究センター	室長	細菌感染に続発する川崎病様症状の発症機構についての研究
天野富美夫	国立感染症研究所細胞科学部	主任研究官	対数増殖期及び静止期のサルモネラ菌のアクロファージ内殺菌抵抗性の研究
新井 陽子	国立感染症研究所ウイルス第1部	主任研究官	輸入感染症としての狂犬病ウイルスの疫学的研究
磯貝恵美子	北海道医療大学歯学部	助手	ライム病発症の分子機構に関する研究
川中 正憲	国立感染症研究所寄生動物部	室長	寄生虫による食品の汚染調査とその予防に関する基礎的研究
川端 真人	神戸大学医学部附属医学研究国際交流センター	教授	G I Sを応用した感染症防御対策の試みに関する研究
岸 文雄	山口大学遺伝子実験室	助教授	細胞内寄生性細菌感染におけるNRAMP 1分子の役割
北 敏郎	産業医科大学医学部	助教授	病原性大腸菌O 1 5 7感染におけるペロ毒素レセプターの役割
倉 文明	国立感染症研究所細菌部	主任研究官	易感染症の宿主要因の解明によるレジオネラ感染対策をめざした研究
小出 幸夫	浜松医科大学微生物学	教授	細胞内寄生菌に対する指向性DNAワクチンの開発
神戸 俊夫	名古屋大学医学部附属病態制御研究施設	講師	カンジタ・アルピカンスの臓器認識に関する研究
小林 睦生	国立感染症研究所昆虫医科学部	室長	デング熱媒介蚊であるヒトスジシマカの分布域拡大に関する研究

佐々木次雄	国立感染症研究所安全性研究部	室長	マイコプラズマ肺炎発症機序に関する研究
佐竹 幸子	群馬大学医学部	助教授	抗菌薬感受性結果解析システム WHONET の普及に関する研究
島本 史夫	大阪医科大学第二内科学教室	講師	地域住民検診におけるヘリコバクターピロリ菌感染の疫学に関する研究
杉山 広	国立感染症研究所寄生動物部	主任研究官	新規住血吸虫症の免疫血清学的診断システムの開発とその標準化
村主 節雄	香川医科大学医学部	助教授	L eishmania 属原虫の種同定法への分子生物学的手法の導入
高山 道子	国立感染症研究所ウイルス第1部	主任研究官	水痘ウイルス分離株とワクチン株との鑑別法の開発に関する研究
滝澤 剛則	愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所	室長	インフルエンザウイルスによる病原性発現の分子機構に関する研究
武永美津子	聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター	助手	病原性大腸菌 O157 より産生されるペロ毒素に対する新規可溶性レセプターの作成とその評価
谷口 初美	産業医科大学医学部	助教授	多剤耐性結核菌の耐性獲得機構の遺伝学的解析及び迅速診断への応用
塚野 尋子	国立感染症研究所	主任研究官	現代に見合ったベストの予防・治療・診断・消毒及び検査体制の確立
朝野 和典	長崎大学医学部	助手	新しいマウス血行性肺化膿症モデルを用いたバンコマイシン耐性 MRSA を含む S aureus の病原因子の免疫分子生物学的解析
名和 行文	宮崎大学医学部	教授	新しい内臓幼虫移行症としてのブタ回虫人体感染の実態解明とその対策
西沢 俊樹	国立感染症研究所口腔科学部	室長	う蝕ワクチン用マルチアグレートープ内存型ペプチド抗原の構築

野口 雅久	東京薬科大学薬学部	講師	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の消毒剤耐性発生機序の解析に関する研究
蓮見 恵司	東京農工大学農学部	助教授	病原菌感染機序の解明—宿主線溶系の活性化による組織侵入の新たな機構の研究
花田 信弘	国立感染症研究所口腔科学部	部長	う蝕細菌の血清疫学と唾液診断技術の開発
保科 定頼	東京慈恵会医科大学医学部	講師	喀痰中からのA群溶レン菌、肺炎レンサ球菌、レジオネラ、MRSA遺伝子同時検出法
宮崎 元伸	福岡大学医学部	助教授	ヘリコバクター・ピロリの疫学的研究
森田 千春	酪農学園大学獣医学部	教授	日本に存在する紅斑熱群リケッチアの疫学、アジア、アフリカのリケッチアとの比較
安川 正貴	愛媛大学医学部	助教授	新型ヘルペスウイルス感染症の病態に関する研究
山崎 利雄	国立感染症研究所ハンセン病研究センター	主任研究官	結核菌ATPによる迅速薬剤感受性試験法の開発に関する研究
山田 靖子	国立感染症研究所動物管理室	主任研究官	コロナウイルスS蛋白のアミノ酸置換及び細胞融合活性の相違による病原性の変化に関する研究
吉田 正樹	東京慈恵会医科大学	助手	黄色ブドウ球菌のバンコマイシンに対する耐性発生の背景因子とその対策